



射水市立大門小学校 学校だより

11月



三輪の結

大門っ子

第14号

令和6年11月6日

本気で走ったチャレンジ・ランニング記録会



10月22日(火)、チャレンジ・ランニング記録会を行いました。当日は、小春日和の清々しい天候に恵まれました。開会式では、「これまでの練習の成果を発揮してください。一人一人力は違います。ですから、自分のペースで最後まで走り切ることが大切です。走っているうちに辛くて、止めたい、歩きたいと思ったときこそが頑張りどころです」と話しました。

練習では、途中で歩く子や立ち止まってしまう子もいましたが、記録会となると、どの子も真剣な顔で、一生懸命に走っていました。全力を出し尽くした子供たちの様子が胸が熱くなりました。私も一緒に走りながら、声をかけ応援しました。記録会の結果は、各学年男女それぞれ成績上位10名の子供たちが表彰されます。

体育の時間やミュージックランニングタイム、そして家でも熱心に取り組んだことが成果となって表れたと思います。保護者の皆様の温かい声援の後押しで、子供たち一人一人が最後まで走りきることができました。本当にありがとうございました。



スタートダッシュ

おいしいカニ給食に感謝！！



射水市の小学6年生全員が給食にベニズワイガニを味わう「学校カニ給食」が10月11日(金)に行われました。全国でも例のないこの取組は、2003年旧新湊市で始まりました。今年は、能登半島地震の影響でベニズワイガニ漁が被害や不漁に直面し、実施が危ぶまれましたが、漁師の皆さんが「途絶えさせるわけにはいかない」と後押ししてくださったと聞きました。

新湊漁業協同組合からカニが届き、一人一人にカニが一杯ずつ配られました。大きくて赤々とした立派なカニです。谷井教頭先生による「カニの食べ方」の説明の後、子供たちは、早速注意深くカニの身を取り出し、口に運んでいました。食べてみると身がぎゅっり詰まった本当に美味しいカニでした。

贅沢な「カニ給食」、漁師の皆さんに感謝です。



カニを食べる子供たち

ようこそ 幼保小連携交流会へ！



文部科学省では、小学校に入学してからの学校生活に適應できず、精神的に不安定な状態が続くことで起こる小1プロブレム問題の解消のために、幼稚園保育園小学校の連携を重視する取組が推進されています。本校でもこれまで幼稚園や保育園と会合をもち、子供たちのためにどのような取組が出来るか相談してきました。

10月16日(水)にはきらら保育園、21日(月)には大門水戸田保育園、大門わかば幼稚園の園児たちと1年生児童が交流活動を行いました。1年生が準備したおもちゃランドに園児たちを招待して、一緒に活動を楽しみました。これからも交流活動の機会を設け、園児の皆さんが安心して就学できる環境を整えていきたいと思ひます。



活動の様子

入学に備えて・・・就学時健康診断！

10月24日(木)、来年度入学予定の児童を対象とした就学時健康診断を行いました。

就学時健康診断は学校保健法第11条に定められており、就学を前に97名の子供たちが診断を受けました。検査項目は内科、耳鼻科、眼科で学校医の先生に見ていただきました。また、視力測定や聴力測定も行いました。6年生の児童が会場づくりや受付、案内等入学してくる子供たちのために、心を込めて手伝いをしました。



受付の様子

健康診断の後、保護者の方は射水市教育委員会生涯学習・スポーツ課が主催する「子育て井戸端会議」に参加しました。会議ではグループで、子育てに関わる悩みや就学後の心配事について話し合ったり、射水市家庭教育アドバイザーの話の聞いたりしました。

子供たちは、低学年教室に10人ずつのグループになって移動し、就学に向けた集団検査を受けました。児童机に座り、静かに検査を受けている様子を見ると、すっかり小学生のような雰囲気でした。

【CS ボランティア活動報告】

今年度より導入されたコミュニティ・スクールの活動として、学校ボランティアを募集したところ、これまで5年生家庭科の裁縫に「たけだニットお直し工房」の方々、1年生の生活科のアサガオのリース作りに宮池さんが来校し、補助ボランティアをしていただきました。手伝っていただいた子供たちは安心感たっぷりで嬉しそうにしており、ボランティアの方々も楽しそうでした。



たけだグループ 宮池さん

皆さんも子供たちのためにボランティアをしてみませんか。(校長 阿尾 昌 樹)